

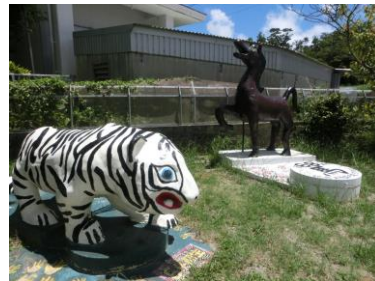
(1) 単元名：かさ

(2) 本時の目標：簡単な場合のかさのたし算やひき算の仕方を考え、計算することができる。

名護市立稲田小学校。学び合う授業づくり3年目の学校である。  
(リフレクションシートNo.96, 105, 120, 140)、今回は、稲田小を初任者で赴任し3年目の教師の挑戦である。

右写真、稲田小のシンボルである虎と馬、馬の色が白から茶色に塗り替えられた。変わる…形として存在するものは変わりやすく、変えやすい。

学びの共同体における改革は、単に形態や様式の「変わる」ではない。学校の目的や役割、教育の理念や教育者の哲学の改革である。どちらも無形のものである。学校の目的や役割は法的にも示されており、再確認や再構築により時代のニーズに応じた学校創りが要求されるが、教育者の理念や哲学は見えにくく、変えることは容易ではない。・・・だから「教師たちの挑戦」であることをわかっていただきたい。



【一人残らずすべての子ども達に、安心と居心地のよさを提供したい】



子ども達も様々な個性を持って生きている。左写真、ちょっとやんちゃで元気な2年生であるが、すぐ横では静かに読書している子がいる。

お互いの居心地のよさを教室という空間で共有している。各々の居心地のよさは個人差があって当たり前、教室がどの子にとっても安心できる場所であることを準備するのは教師の責任であると考えます。

異なる考えを持つ個人が互いに譲り合い、協力して共生できる民主主義の共存社会が教室である。

右写真、教師の理念と学習の後が見える。下は靴箱、あなたはどんな教師と授業をイメージしますか？



[1:55 導入：前時の確認から問題①へ] ①  $2L\ 3\ dL + 4\ dL$  (単位を見間違わないで計算)

前時の確認(かさの単位関係)をすませたら、さっそく今日の問題①をみんなで考える。女の子が、単位が同じなのは3と4なので合わせて7dLになります。仲間に向けられる視線が素晴らしい。



[2:05 問題②をペアにあずける] ②  $1L\ 5\ dL + 5\ dL$

授業者は、①をみんなで共有した後、②の問題はあっさり何の躊躇もなくペアにあずけた。実に自然で子ども達もまったく違和感なくきき合っている(写真)。どのペアを見てもこの通りである。

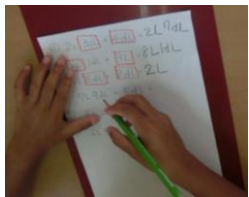
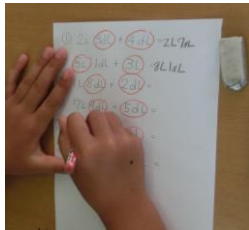
女の子：「5と5はdLだから、この二つを合わせて10dLになるでしょ。10dLは1Lに変身するから、1Lと1Lを合わせると、答えは2Lになるの、わかった。」  
お見事！素晴らしい説明である。さて、同じ説明を、教師の側から発信するのと、仲間から教えてもらうこと「どちらが学び？」





[ 2:15 教科書の練習問題プリント①をでやる ]

- ①  $2L + 3dL + 4dL =$
- ②  $5L + 1dL + 3L =$
- ③  $1L + 8dL + 2dL =$
- ④  $7L + 9dL - 5dL =$
- ⑤  $8L + 2dL - 4L =$
- ⑥  $2L + 3dL - 3dL =$



問題②の共有の後、教科書の問題をプリントでやる（写真左）。ひき算まで入っている。要は、単位を間違えずにたしたり、ひいたりできるかである。授業者は「計算する前に単位に〇つけると考えやすいね」と優しい言葉をかける。左下の写真が授業者の言葉に応える子ども達の行為である。先に単位に〇をつける者、1問ずつ計算しながら〇をつける者、ちょっとした行為の違いに、こだわりや「その子のらしさ」がうかがえて面白い。

授業者は、途中に「確かめもお友達同士でやってね」と声をかける。右の3枚の写真、どのペアを見ても写真の通りである。男の子、女の子もまったく違和感なく、くっつき合ってきてき合っている。すべてのペアが写真の通りです。

素晴らしい、圧巻の風景にしばらく見とれるこの風景を見たとき誰が一番安心するのだろうか思わずこの子達の保護者の姿を頭に浮かべてみたくなる。この教室を低学年のモデルにして紹介したい。挑戦する教師達へ、私の期待が募る。



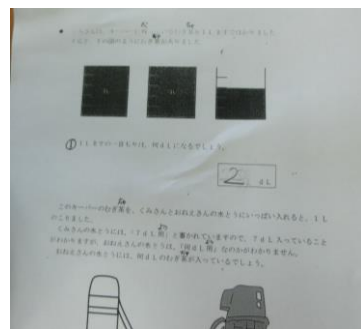
[ 2:22 教科書の練習問題プリント②（写真左下、換算問題）をでやる ]

プリント①を黒板で共有した後、2つ目の練習問題プリント②にがわたされた。今度は換算問題である。先ほどの問題より思考が要求される。dLとmLがもがきをつくる。子ども達は、まずペアで確かめた後、自信がなかったのか、さらに席を立てて仲間に確かめにいく。教師に確かめを求めるのではなく、仲間に求めて動いたところが素晴らしい。『みんなでやりとげる』

- ①  $4L = \square dL$
- ②  $500mL = \square dL$
- ③  $8dL = \square mL$
- ④  $1000mL = \square L$



[ 2:28 ジャンプ問題 ] かなり難しい



マスの1目もりが2dLで表されていることを読み取らないといけない。2年生にとってはかなりハイレベルな問題である。

換算技能と資料の読み取る力が必要となる。写真①、ほとんどの子が「なに？どう意味？何書けばいいの？」「意味わからん？」教室中できき合うが必然となり「分ろう」として動きが活発になる。写真②、問題を読み終えた後あっさり「まったく意味わかりません」と発言した男の子に、笑顔で寄り添

い説明する女の子である。見ている私の頬もゆるむ。素敵な関係である。

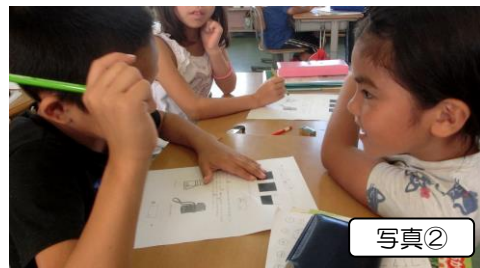
[ 2:37 共有する ]



女の子が説明するが、腑に落ちない様子を感じた授業者が、リボイスする形で説明を付け足す。聞き入る子ども達の視線「分りたい」に向かっている



写真①



写真②



「癒される」とは、子どもの姿と、「教師と子どもの関係」という見えない空間に存在する。